

企業名： 日本特殊陶業

レポート名：統合報告書 2021

## 1. この会社が目指す姿が理解できるか

統合報告書の会長メッセージにおいて、「総員参加」「良品主義」の理念の下でセラミックスの可能性を探求し、社会に貢献、顧客との信頼関係構築をおこなってきたことが明言されている。また会長メッセージでは 2020 年の 4 月に CSR・サステナビリティ検証を策定し、今後は従来の“競争”ではなく“協創”が求められると述べている。さらに新規事業に関しても言及されており、自動車関係事業に依存しない新規事業やソリューションの創出に注力している。この新規事業に関することでは社長メッセージにおいても言及されている。社長メッセージ曰く、コアアセットを活用し、“日特らしさ”を追求した今までにない新しい事業で世界の QOL 向上に貢献するとのことで、そのために投資効率が上がる M&A や技術に投資する旨のことがある。

以上のことから日本特殊陶業はどういった理念で活動してきて、今後どのような方向性で経営していくのかが述べられていることがわかる。そのため、この会社が目指す姿がわかる。

## 2. この会社の競争優位性が理解できるか

日本特殊陶業の競争優位性は化学分野の新規事業の営業利益率が平均の 8.9% よりも高いことと、メディカル呼吸器関連ビジネスにおいて 2025 年に 2000 億円規模市場になることが期待されていることが挙げられる。自動車事業を行っている企業は今後カーボンニュートラルの潮流で低成長となることが予想される。そのため、自動車事業以外の新規事業で高い利益率を誇っているのは競争優位性をとれる。また、メディカル呼吸器関連ビジネスへの期待に関しては将来の市場拡大が望めるが、その一方で自動車事業を行っている会社で医療関係のビジネスを行っている競合他社が存在する。そのため、一概に競争優位性があるとは言いがたい。

以上のように、日本特殊陶業は新規事業の営業利益率が高さや将来有望な事業を行っている。しかし、前述の特徴は強みではあるが同じような強みを持つ他社が存在するため、競争優位性とまでは言えない。

以上のように競合他社の存在はあるものの、新規事業の営業利益率が平均よりもかなり高いことと、メディカル呼吸器関連ビジネスにおいて 2025 年に 2000 億円規模市場になることは競争に優位に働くとされるため、競争優位性は理解できる。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

上述のように日本特殊陶業の競争優位性は新規事業の営業利益率が平均よりもかなり高いことと、メディカル呼吸器関連ビジネスにおいて 2025 年に 2000 億円規模市場になることだ。これらの競争優位性において前者は新企業の参入やその他の要素で変動し得るため持続性があるとは言いがたい。しかし、後者に関しては市場拡大によって将来の大きな利益が望め、一度拡大した市場が縮小することは考えにくいので持続性があるといえる。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

日本特殊陶業の統合報告書によると人材方針について言及されている。その中で「私たちは、従業員は最大の経営資源であると認識し、従業員の多様性・個性を尊重し、心身ともに健やかな人間形成を推進することで、当社グループの発展を目指します」とある。実際、日本特殊陶業では実際の業務を通して技術や知識を身に着ける OJT を基本としつつ、職場を離れて技術や知識を身に着ける OFF - JT が行われている。このように職場の内外で訓練を積むことは他の場所でも通用する普遍的な技術や知識の醸成につながるため、人的資本の価値が向上すると考えられる。また、経営人材や管理職の養成も行っており、こうした動きは長期にわたって日本特殊陶業を支える従業員を育成していると考えられる。このように社内での地位に関わる育成は前述のものとはまた違った形で人的資本の価値を向上させると考えられる。

以上のように日本特殊陶業では社の内外で通用する普遍的な技術や知識を身に着けられるうえに、経営や管理職に関するノウハウも培うことができる。そのため、この会社で人的資本の価値向上が望めると思う。

### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

日本特殊陶業の統合報告書は事業や戦略、会社概要がわかりやすくまとめられており、図表も用いて視覚的な理解もしやすいものだった。しかし、強いて改善点をあげるとすれば、25、26 ページのある財務関連ハイライトと非財務関連ハイライトの記載場所に関してあげられる。25、26 ページのある財務関連ハイライトと非財務関連ハイライトは 98 ページ以降の財務・会社情報との関連性があるため、そこに記載ないし 25、26 ページに加えてそこにも記載したほうが探しやすくなると思った。

#### 参考文献

<https://www.riskmonster.co.jp/study/report/pdf/industryreport201908.pdf> 業界レポート  
産業分類コード 16 （最終閲覧日 7/12）